

第2学年 ホームルーム活動（人権）学習指導案

1 主 題 「介護」をめぐる人権課題

2 主題設定の理由（省略）

3 ね ら い

老々介護やヤングケアラーの問題など、介護をめぐる人権課題について理解し、高齢社会や多様性を認め合う社会を生きる一員として、自らの課題として受け止め、解決していくとする態度を養う。

4 指 導 計 画

（1）これまでの学習

第1回 地球市民として行動しよう（SDGs等の視点から）・・・・・・・・・・1時間

第2回 様々な人権問題①（介護ロボット体験学習）・・・・・・・・・・1時間

（2）本時の学習

第3回 様々な人権問題②（「介護」をめぐる人権課題）・・・・・・・・・・1時間

（3）これからの学習

第4回 仲間の気持ちに学ぶ（これまでの人権学習を振り返って）・・・・・・・・1時間

5 本 時 の 学 習

（1）目標

班別発表を通して、「介護」をめぐる人権課題が多岐にわたることなどを理解し、介護者や被介護者それぞれの立場に寄り添うことで、互いの尊厳を重んじ、豊かに生きていくために必要な手立てについて、自分自身の課題として真摯に向き合おうとする態度を養う。

（2）普遍的な学習のテーマ・・・人権の尊重

個人権課題名・・・・・・・・女性，子ども，高齢者，障がい者，外国人

(3) 展開

	学 習 活 動	指導上の留意点	評 価
導入 5分	○スライドを見て，本時の発表の注意事項や着眼点について理解する。	○スライドを用いて分かりやすく理解させる。	
展開 40分	○各班ごとに「介護」に関するテーマを設定して調べ，発表スライドを作成する。 ○班別に調べたことを発表する。 ○各班の発表を視聴することで，「介護」に関するテーマが多岐にわたり，また深刻な社会問題となっていることを理解する。 ○各班の発表についてメモを取りながら評価するとともに，質問したいことや，考えたことなどをワークシートにまとめる。	○調べ学習や話し合い，発表スライドの作成などの時間が確保できるよう配慮する。 ○各班の主体的なテーマ設定を尊重しながら，全体として多角的視点から問題点を明らかにした発表となるよう助言する。 ○自分たちの班と共通している点や異なる点について注意しながら聞くように促す。 ○自分自身が介護する側や介護される側になりうることを伝える。 ○評価においては発表内容に加え，級友の関心や問題意識を喚起できるような発表方法にも注目させる。	○発表準備において，主体的かつ意欲的な態度で情報収集や有意義な意見交換ができたか。 （価値的・態度的側面） ○他の班の発表を傾聴し，多様な考え方を受け止めることができたか。 （価値的・態度的側面） ○自らの役割を果たし，分かりやすい発表を行うことができたか。 （技能的側面） ○「介護」をめぐる人権課題が多岐にわたることや深刻な社会問題となっていることを理解できたか。 （知識的側面） ○各班の発表内容をよく理解し，適切な評価ができたか。（知識的側面）
まとめ 5分	○本時を振り返りながら，ワークシートを完成させる。	○級友の意見を聞いて気付いたことや感じたことを発表させる。 ○介護における様々な人権課題を自らの課題として受け止めて考え，解決していくことの大切さを伝える。	○高齢社会や多様性を認め合う社会を生きる一員として自らの問題と考え，真摯に向き合うことができたか。 （価値的・態度的側面）